

東南アジアにおける取り組み事例③(フィリピン)

フィリピン国安全野菜生産販売技術改善プロジェクト

実施期間: 2016年～2019年 対象者: 農民、自治体職員、卸売市場運営者、政府職員

草の根技術協力実施中

【プロジェクト場所】

主要野菜生産地域10州

【提案自治体／実施団体】

長野県南牧村／(公社)国際農業者交流協会

【活動およびアウトプット】

1. 土づくり・安全野菜生産(SAVERS)技術に基づく土壌改良、安全で良質な野菜の生産が普及拡大
2. 野菜生産者による野菜包装販売(FIVPS)システムの有効性の実証
3. プロジェクトの受益者がSAVERS、FIVPSの必要性和技術内容を理解するとともに、その実践または普及を行う意欲をもつ

生産地



高付加価値農産品の生産

流通



・ロスの削減(人件費・時間)
・流通量の増加

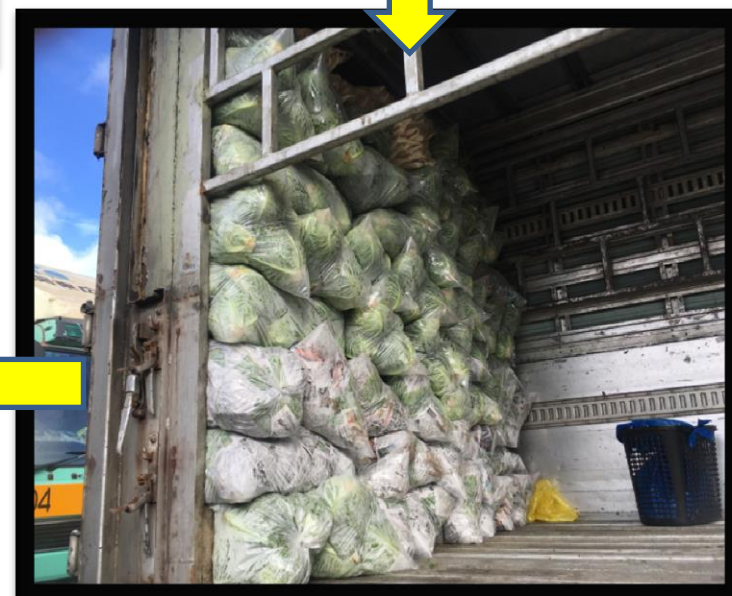
小売店・レストラン
消費者



高品質・新鮮な作物を提供

東南アジアにおける取り組み事例③(フィリピン)

フィリピン



輸送方法により、商品がダメージを受け、価値が下がる

東南アジアにおける取り組み事例③(フィリピン)

日本



産地で箱詰めされた状態
(＝収穫時の良好な状態)で出荷



- FVC構築を対ASEAN農村・農業開発セクターにおける協力の柱の一つと位置づけ、技術協力、資金協力、民間スキームを有機的に組み合わせながら支援内容をさらに充実させる。
- 2国間で実施する事業のみならず、ASEAN全体を対象としたFVC構築に係る対話を促進し、域内貿易促進に向けたボトルネックの解消に取り組む予定。

ご清聴ありがとうございました



インドネシア流通システム改善プロジェクト 本邦研修終了時